

受理年月日	平成26年6月24日	付託年月日	平成26年6月25日	所管委員会	第1委員会
番号	26年請願第10号				
件名	解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する意見書議決について				
請願者	早良区有田五丁目17-7 博多湾会議 代表者 脇 義重 外 2人				
紹介議員	荒木、熊谷、中山、星野、綿貫、高田、池田、落石				
分割付託	なし				
要旨	<p>ここ福岡は古来、アジアの玄関口として、いろんな国の人たちを迎え入れてきました。中央区にあった鴻臚館を初め、たくさんの遺物が雄大に歴史を物語っています。利害や文化、政治思想も異なる国の人たちと出会う時に、大きなトラブルを回避する最善の方法は、迎え入れ、対話するしかありません。武力をもってすれば、武力でしか返ってこないでしょう。</p> <p>憲法で戦争放棄を高らかに宣言した国が、国の内外で人殺しをするようなことは、あってはなりません。集団的自衛権の行使を認めれば、平和憲法が実質的に殺されることになるのではないのでしょうか。</p> <p>太平洋戦争終結後から、他国と戦争しないことを、70年近くの長い間、ずっと日本は守り続けてきました。平和憲法、特に9条について歴代内閣は議論を重ね、集団的自衛権行使は憲法がこれを許さないとしてきました。安倍政権は積み重ねられた憲法解釈を覆し、本来、外交で処理しなければならないことを軍事問題にすりかえようとしています。日本を戦争する国に変えるための手続としか思えないことが着々と進んでいます。</p> <p>現安倍政権が、歴史を無視した独断で、一方的にこれまでの憲法解釈が間違っていたと発言するだけで平和憲法が変えられることが許されるのでしょうか。それが許されるのであれば、国会の議論はもちろん、本市議会など地方議会で積み重ねられる議会での民主主義の結果も、安倍内閣は否定している、と受け止めざるを得ません。</p> <p>集団的自衛権の行使を認めるということは、日本の自衛権行使の問題ではなく、実質的に攻撃権を認めることとなります。こうした戦争に参加することで、殺し殺される可能性は必ず高まります。第二次世界大戦直後、博多湾は引揚者約140万人を受け入れました。軍も政府も誰も助けてくれずに、自力で博多湾にたどり着いた引揚者の方々がたどった苦難の道のりは想像を絶するものだったと思います。</p> <p>そうした戦禍に遭わせないことを誓った憲法を守り、戦争を回避するために政治に全力を注ぐことが国会と本市議会を構成する議員・政治家の役目ではないのでしょうか。議会での民主主義が打ち消されないために、また、近隣と本市市民を戦禍に遭わせないために、下記の事項について請願します。</p> <p>1. 解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する意見書を国に提出すること。</p>				
審査年月日	平成 年 月 日	結 果	委員会	平成 年 月 日	
	平成 年 月 日		本会議	平成 年 月 日	
	平成 年 月 日				

2014年6月24日

福岡市議会

議長 森 英鷹殿

請願者

博多湾会議

福岡市早良区有田5丁目17番7号

代表者 脇 義重

平和をあきらめない人々のネットワーク・福岡

福岡地区合同労働組合気付

代表者

福岡地区合同労働組合

代表者

反安倍アクション

代表者

「特定秘密保護法」を廃止する会・福岡

代表者

外 人

## 請願

「解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する」意見書を国に提出することを求める

### 【請願理由】

ここ福岡は古来、アジアの玄関口として、いろんな国の人たちを迎え入れてきました。中央区にあった鴻臚館をはじめ、たくさんの遺物が雄大に歴史を物語っています。利害や文化、政治思想も異なる国の人たちと出会う時に、大きなトラブルを回避する最善の方法は、迎え入れ、対話するしかありません。武力をもってすれば、武力でしか返ってこないでしょう。

憲法で戦争放棄を高らかに宣言した国が、国の内外で人殺しをするようなことは、あってはなりません。集団的自衛権の行使を認めれば、平和憲法が実質的に「殺される」ことになるのではないのでしょうか。

太平洋戦争終結後から、「他国と戦争しない」ことを、70年近くの長い間、ずっと日本は守り続けてきました。平和憲法、特に9条について歴代内閣は議論を重ね、集団的自衛権行使は憲法がこれを許さないとしてきました。安倍政権は積み重ねられた憲法解釈を覆し、本来、外交で処理しなければならぬ事を軍事問題にすり替えようとしています。日本を戦争する国にかえるための手続きとしか思えないようなことが着々と進んでいます。

現安倍政権が、歴史を無視した独断で、一方的に「これまでの憲法解釈が間違っていた」と発言するだけで平和憲法が変えられることが許されるのでしょうか。それが許されるのであれば、国会の議論はもちろん、福岡市議会など地方議会で積み重ねられる議会での民主主義の結果も、安倍内閣は否定している、と受け止めざるをえません。

集団的自衛権の行使を認めるという事は、日本の自衛権行使の問題ではなく、実質的に攻撃権を認めることになります。こうした戦争に参加することで、殺し殺される可能性は必ず高まります。第二次世界大戦直後、博多湾は引揚者約140万人を受け入れました。軍も政府も誰も助けてくれずに、自力で博多湾に辿り着いた引揚者の方々が辿った苦難の道のりは想像を絶するものだったと思います。

そうした戦禍に合わせないことを誓った憲法を護り、戦争を回避するために政治に全力を注ぐことが国会と福岡市議会を構成する議員・政治家の役目ではないのでしょうか。議会での民主主義が打ち消されないために、また、近隣と福岡市民を戦禍に合わせないために、次の事項を採択するよう請願します。

### 【請願事項】

「解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する」意見書を国に提出してください。